

国史跡指定記念企画展

# 国史跡 甲立古墳

～甦る家形埴輪祭祀の世界～



平成28年4月16日(土)～6月26日(日)

安芸高田市歴史民俗博物館

〒731-0501 広島県安芸高田市吉田町吉田278-1 TEL (0826) 42-0070

■開館時間／9:00～17:00 ■休館日／月曜日(5月2日は開館)、5月6日(金)

■入館料／大人300円(200円)、小中学生150円(100円) ( )内は20名以上の団体

アクセス ○自動車 中国自動車道高田ICより15分、広島県庁より国道54号線で約1時間20分  
○バス 広島バスセンターより約1時間30分(安芸高田市役所前下車)

# 国史跡甲立古墳

～甦る家形埴輪祭祀の世界～

平成28年3月1日甲立古墳は、国史跡に正式決定されました。これを記念した本企画展は、これまで調査された古墳の遺構や埴輪の出土状況などについて、出土した家形埴輪や円筒埴輪、比較される県内前方後円墳出土遺物などと共に展示、解説します。国史跡として評価された甲立古墳の全貌を紹介します。



## <甲立古墳>

所在地／安芸高田市甲田町上甲立

築造時期／古墳時代前期4世紀末（平成20年に発見）

全長／78m（広島県内で2番目の規模）

菊山（標高382m）の尾根上にほぼ南北を主軸として造られ、墳丘からは可愛川（江の川）沿いの平野部を一望できる。墳丘の保存状態が極めて良く、発掘調査により家形・円筒など埴輪群が当時の位置のまま出土し、古墳祭祀を物語る貴重な遺跡とわかった。また、周辺にはない畿内の影響の強い古墳であることも特筆される。



いえがたはにわ  
2号家形埴輪 長さ87.0cm、高さ68.3cm、奥行48.4cm

石敷区画内で配列された5基のうち最も残存状況が良くほぼ完形に復元できた家形埴輪。切妻屋根と8本の角柱で2間×2間の高床式建物を表わすが柱間は壁のない吹き放しとなる。また上層部の角柱、長辺側には「鍵手文」を線刻する。



こも いえがたはにわ  
子持ち家形埴輪 長さ17.6cm、奥行13.8cm、高さ12.5cm

後円部墳頂の出土の家形埴輪。方形の碁盤状の基底部に4本の柱を貼り付け一辺の柱間にはベッド状の造形を加える。5基を配列した石敷区画外に置かれていたとみられ、ベッド状の付属物を持つことから重要な施設を表現した家形埴輪とみられる。

## <関連行事>

### ●安芸高田の古墳探訪ツアー（要申込）

- ・日時：5月7日（土）、6月4日（土）各回13:00～16:30
- ・参加費：2,000円（バス代）
- ・定員：各回20名
- ・見学地：甲立古墳、戸島大塚古墳、中馬古墳群、白鳥古墳（予定）
- ・案内：当館学芸員
- ・申込：電話又は当館HPを参照（4月12日より受付開始）

### ●展示解説（申込不要）

- ・日時：期間中 第1・第3土曜日（4/16、5/7、5/21、6/4、6/18）各回11:00～11:30
- ・解説：当館学芸員
- ・参加費：無料